特集

平成30年3月29日
東　京　税　関

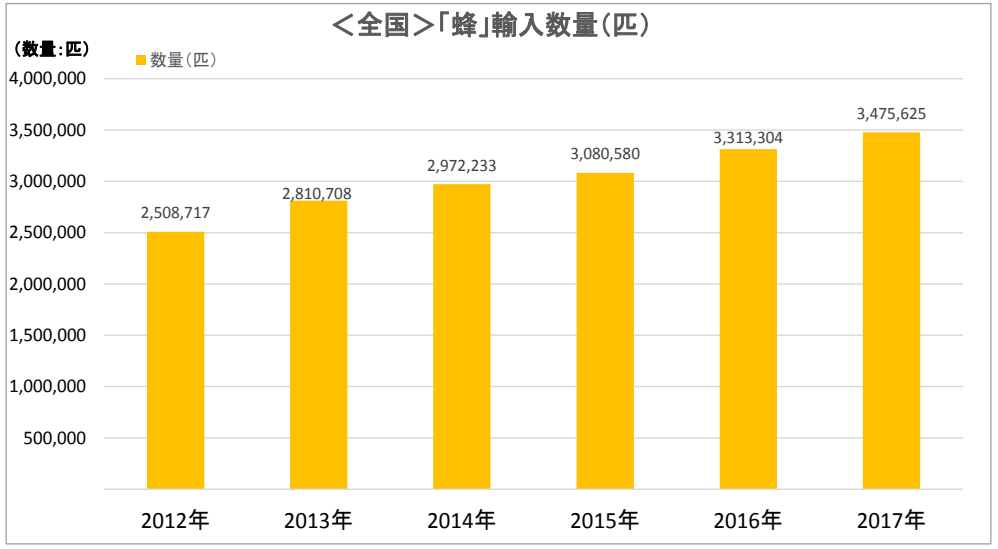
働き者の「蜂」の輸入

～3月8日は、みつばちの日～

☆ 2012年以降、生きている「蜂」の全国の輸入数量は年々増加（2017年は約３４８万匹）。
☆ 2012年から2014年まではオランダからの輸入数量が第一位であったが、
　2016年以降は、スロバキアからの輸入数量が第一位。
☆ 2012年以降、港別では輸入数量・金額ともに、成田空港が第一位（６割超を占める）。

　季節はもう春です。色鮮やかな花や植物が芽吹く季節になります。公園や野原を歩くと、花や植物と同様に春を待っていた虫たちを目にすることも多くなるのではないでしょうか。
　春の虫といえば、可憐な花が咲いた野原で飛び回る「蜂」を見かけることもあると思いますが、皆さんは「蜂」が輸入されていることをご存知でしょうか。
　輸入されている「蜂」は、蜜を集めるものは少なく、主として果物や野菜を実らすための受粉や害虫駆除の手助けをする「蜂」として輸入されるようです。
（輸入される目的については次ページを参照）

　今回は、そのような働き者の「蜂」の輸入にスポットを当ててみました。



（※）全日本はちみつ共同組合と日本養蜂はちみつ協会は、
　3月8日を「みつばちの日」及び8月3日を「はちみつの日」と制定している。

本特集は、以下の輸入統計品目番号についてまとめたものです。
・蜂：0106.41-000　（生きているもの）（2012年～）
・天然はちみつ：0409.00-000（1988年～）
（※本資料における「2018年2月分」は速報値（P））

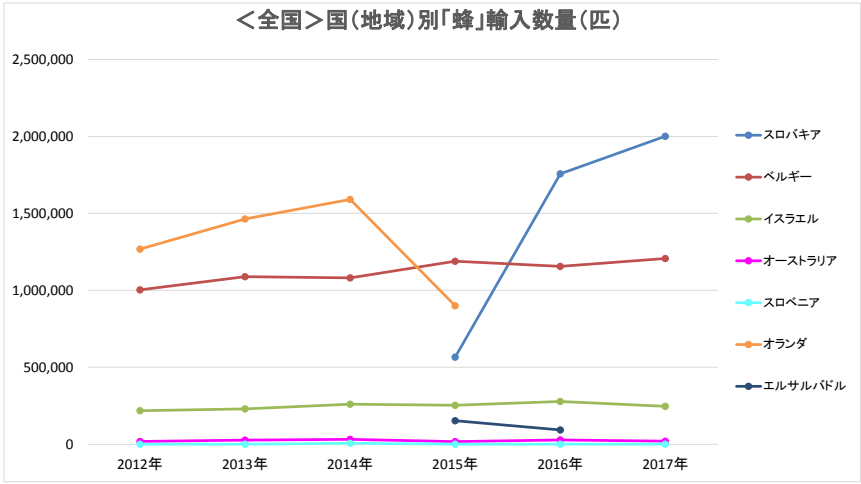
蜂の輸入動向（国（地域）別）

☆ 2016年以降、スロバキアからの輸入数量が第一位。

国（地域）別の全国の輸入数量（匹）を見ると、2012年から2014年までオランダからの輸入が第一位でしたが、2015年から急激に減少し、これに替わって、スロバキアからの輸入が急増し、2017年（約200万匹）は第一位となっています。

ベルギーについては、2012年以降微増傾向にあり、2017年（約121万匹）は第二位でした。

「蜂」が輸入される目的を見ると、蜜を採取するための蜜蜂として輸入されるものは、検疫の関係から、イタリア、ロシア、ハワイ州、オーストラリア、ニュージーランド、スロベニア、チリからに限り輸入が可能（注１）となっていますが、実際に輸入があるのは、オーストラリア（2017年約2万匹）とスロベニア（2017年約１千匹）からで、数量は非常に少ないです。多くの「蜂」は次のような目的でスロバキア、ベルギー、イスラエル等から輸入されています。



◆「花粉交配用昆虫」としての「蜂」

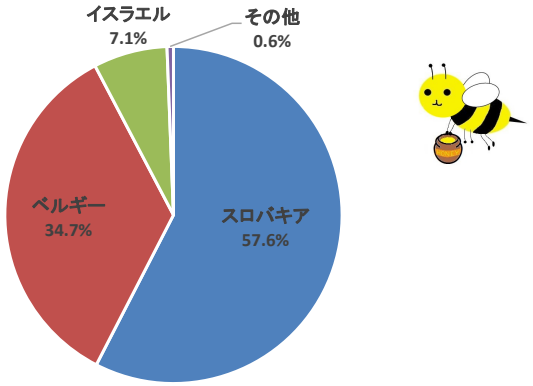
イチゴ、トマト、メロン等果菜類などの園芸作物生産における花粉交配の手段として用いられる等、省力化を図る上で欠かせないものとなっています。（注２）

◆「生物農薬」として害虫を殺す天敵の「蜂」

ビニールハウスなどで栽培されるトマト、ナス、ピーマンなどの野菜では、アブラムシ、コナジラミなどの発生が問題になっています。これらの害虫は小さいため、発見が遅れて増えてしまったり、また種類によっては殺虫剤が効かなくなっているものもいて、被害が出ています。

害虫を殺す天敵は、殺虫剤の代わりになることから生物農薬と呼ばれており、天敵がうまく働けば、殺虫剤の散布回数を大幅に減らすことが出来るなど、作業の軽減にもつながります。（注３）

2017年＜全国＞主要国（地域）別「蜂」輸入数量（匹）構成比

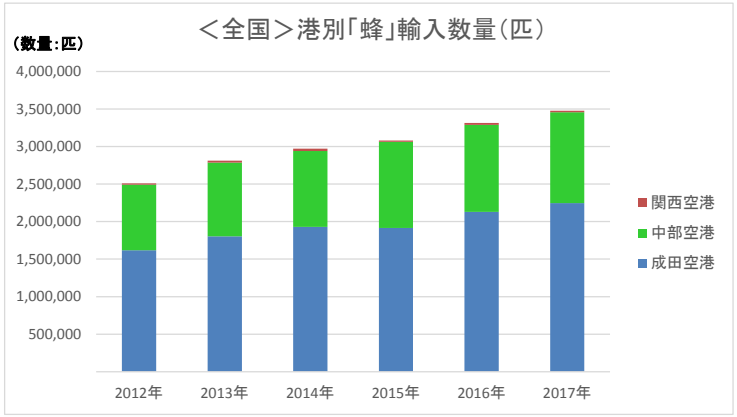


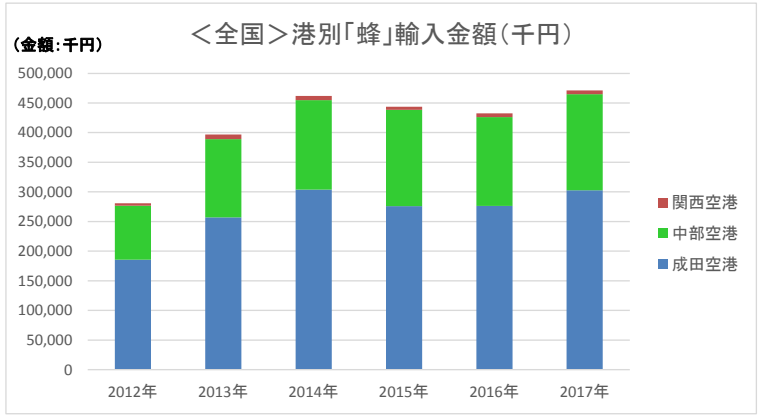
（注１）出典：農林水産省「検査が必要な物（指定検疫物等）－みつばちの家畜衛生条件」
（http://www.maff.go.jp/aqs/hou/require/bee.html）
（注２）出典：農林水産省「花粉交配用昆虫について」
（http://www.maff.go.jp/j/chikusan/gijutu/mitubati/）
（注３）出典：農林水産省　農林水産技術会議「天敵で害虫を減らす」
（http://www.affrc.maff.go.jp/docs/youth/agri_science/as201402.htm）

蜂の輸入動向（港別）

☆ 2012年以降、港別では輸入数量・金額ともに、成田空港が第一位（６割超を占める）。

　2012年以降の全国の港別推移を見ると、全て空港を利用して輸入されています。
　蜂の輸送は、海上貨物に比べ輸送時間が短い航空貨物が利用されています。

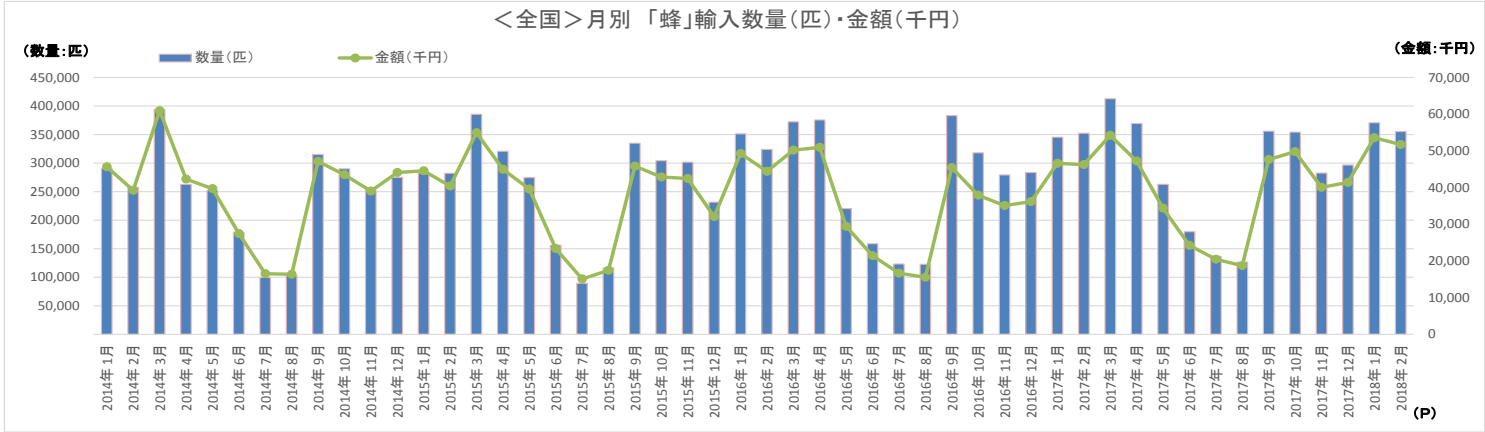




蜂の輸入動向（月別）

☆ ３月８日は、みつばちの日。

　輸入数量・金額を月別で見ると、例年、９月頃から翌年４月頃にかけて多くなる傾向があります。



＜参考＞「天然はちみつ」の輸入

☆ 8月3日は、はちみつの日。

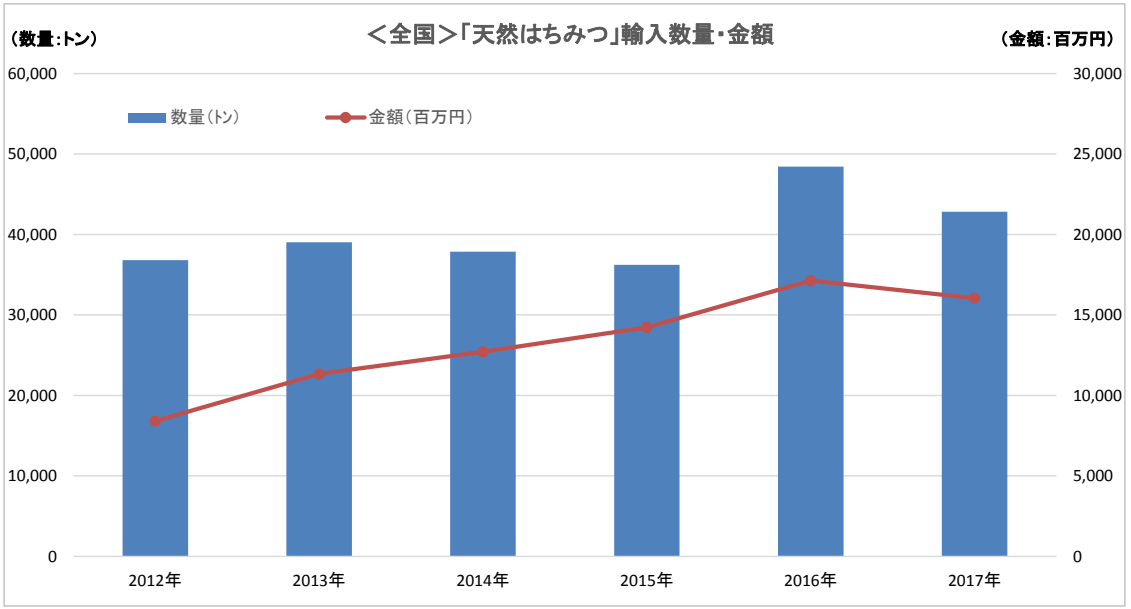
「天然はちみつ」の輸入について見ると、2017年の全国の輸入数量は約4万3千トン、金額は約160億円で、国（地域）別では、中国が69.6%を占めており、次いでアルゼンチンが10.3%、カナダが7.5%の順となっています。

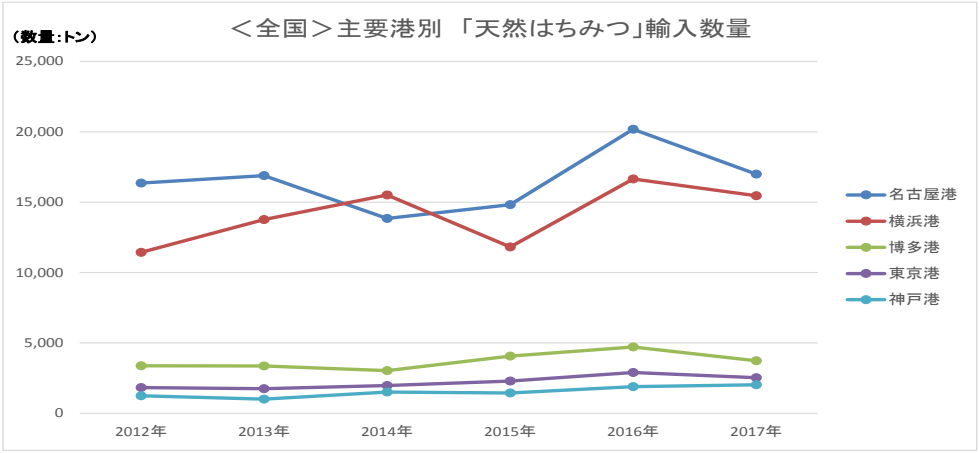
港別では、名古屋港が第一位、横浜港が第二位となっており海上貨物での輸送が多くなっています。

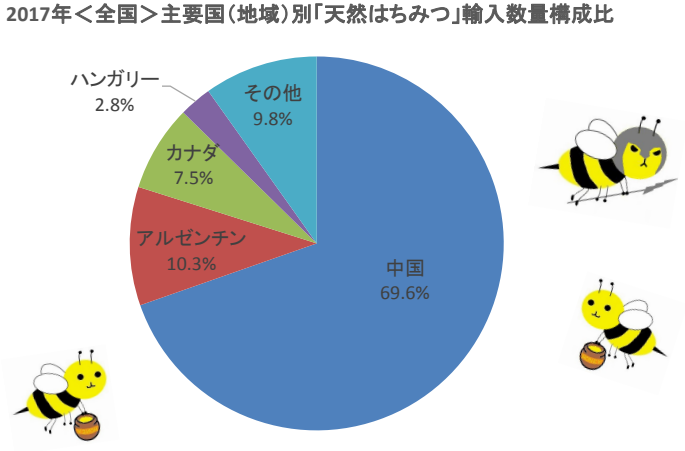
2016年のはちみつの国内流通量は、約5万1千トンで、うち国産が約3千トン（約5%）、輸入の「天然はちみつ」が約4万8千トン（約９５％）で輸入が大部分を占めています。また、国産は家庭用、輸入品は約55%が家庭用、約45%が業務加工用とのことです（注４）。

国産品の「はちみつ」を街中や観光地で見かけた際には、輸入品と味を比べてみてはいかがでしょうか。

（注４）出典：農林水産省「養蜂をめぐる情勢（平成29年10月）」
(http://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/sonota/pdf/h29hachimeguji.pdf)







【＜全国＞「蜂」輸入数量・輸入金額　推移表】

年	数量（NO）	前年比	数量（KG）	前年比	金額（千円）	前年比
2012年	2,508,717	-	24,310	-	280,987	-
2013年	2,810,708	112.0%	23,960	98.6%	396,672	141.2%
2014年	2,972,233	105.7%	25,204	105.2%	462,019	116.5%
2015年	3,080,580	103.6%	24,805	98.4%	443,812	96.1%
2016年	3,313,304	107.6%	20,151	81.2%	432,635	97.5%
2017年	3,475,625	104.9%	19,619	97.4%	471,135	108.9%

【＜全国＞港別「蜂」輸入数量　推移表】

単位：NO

港	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
関西空港	16,451	24,472	32,424	17,950	25,194	19,295
中部空港	874,881	981,006	1,009,504	1,146,900	1,159,840	1,208,960
成田空港	1,617,385	1,805,230	1,930,305	1,915,730	2,128,270	2,247,370
総計	2,508,717	2,810,708	2,972,233	3,080,580	3,313,304	3,475,625

【＜全国＞港別「蜂」輸入金額　推移表】

単位：千円

港	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
関西空港	4,059	7,506	7,318	5,476	6,612	6,104
中部空港	91,443	132,191	150,641	162,353	149,562	162,391
成田空港	185,485	256,975	304,060	275,983	276,461	302,640
総計	280,987	396,672	462,019	443,812	432,635	471,135

【＜全国＞国(地域)別「蜂」輸入数量　推移表】

単位：NO

国（地域）	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
スロバキア	-	-	-	566,000	1,757,190	2,000,920
ベルギー	1,002,910	1,088,620	1,081,500	1,189,400	1,155,840	1,206,960
イスラエル	218,550	229,600	260,650	253,800	278,350	246,450
オーストラリア	18,692	27,608	32,493	17,200	28,479	20,440
スロベニア	715	600	6,840	750	715	855
オランダ	1,267,850	1,464,280	1,590,750	899,980	-	-
エルサルバドル	-	-	-	153,450	92,730	-
総計	2,508,717	2,810,708	2,972,233	3,080,580	3,313,304	3,475,625

【＜全国＞「天然はちみつ」輸入数量・輸入金額　推移表】

年	輸入数量（トン）	前年比	輸入金額（百万円）	前年比
2012年	36,823	90.7%	8,408	89.7%
2013年	39,030	106.0%	11,341	134.9%
2014年	37,870	97.0%	12,714	112.1%
2015年	36,222	95.6%	14,236	112.0%
2016年	48,445	133.7%	17,142	120.4%
2017年	42,821	88.4%	16,038	93.6%

【＜全国＞港別「天然はちみつ」輸入数量　推移表】

単位：トン

港	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
名古屋港	16,353	16,884	13,845	14,824	20,176	16,990
横浜港	11,437	13,768	15,516	11,812	16,653	15,457
博多港	3,368	3,364	3,026	4,055	4,708	3,727
東京港	1,824	1,745	1,966	2,282	2,889	2,521
神戸港	1,242	1,006	1,504	1,435	1,891	2,016
その他	2,599	2,263	2,013	1,814	2,128	2,110
総計	36,823	39,030	37,870	36,222	48,445	42,821

【＜全国＞国(地域)別「天然はちみつ」輸入数量　推移表】

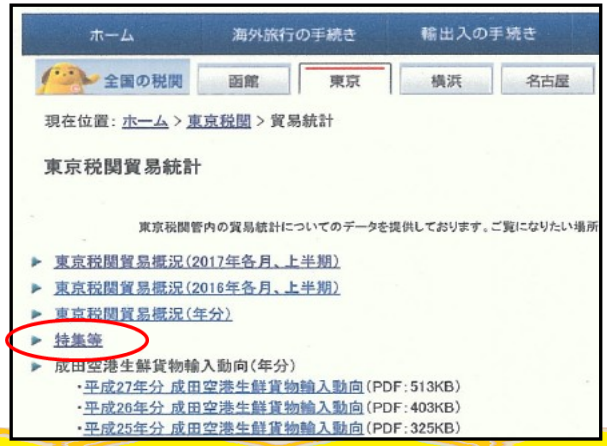
単位：トン

国（地域）	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
中国	28,763	30,006	28,204	26,411	35,466	29,818
アルゼンチン	2,213	3,044	2,877	3,278	4,201	4,389
カナダ	1,656	2,407	2,709	2,842	3,054	3,198
ハンガリー	827	740	1,032	721	1,195	1,202
その他	3,364	2,834	3,048	2,969	4,529	4,214
総計	36,823	39,030	37,870	36,222	48,445	42,821

特集記事はインターネットで！

東京税関ホームページ
【http://www.customs.go.jp/tokyo/】
↓
東京税関の貿易統計
↓
特集等

過去の発表分も掲載しています！



本資料に関してご意見はありませんか？
「特集」として取り上げて欲しいものはありませんか？
ご要望、お問合せは東京税関までご一報下さい。

貿易統計の数値はインターネットでも検索できます。

財務省貿易統計 検索

東京税関　調査部　調査統計課　TEL:03-3599-6385

※本資料を引用する場合、東京税関の資料による旨を注記して下さい。

東京税関
〒135-8615　東京都江東区青海2-7-11 東京港湾合同庁舎
http://www.customs.go.jp/tokyo/